被害状況と痕跡

クマはカキ、クリ、ナシ、ブドウ、リンゴなどの果樹を食害することがあります。牛舎のエサや養蜂巣箱、ニワトリ、倉庫に保管してある食べ物なども被害にあうことがあります。
また、クマ棚やツメ跡などの痕跡を残します。

被害状況

リンゴ食害

ニワトリ食害

倉庫侵入

痕跡

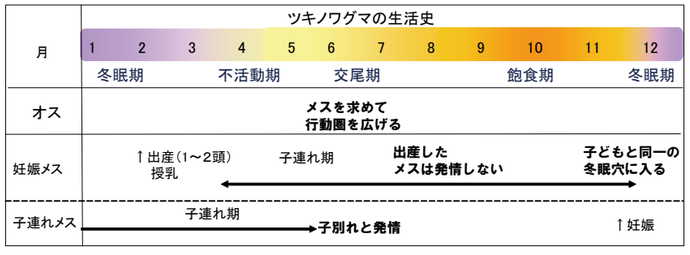
クリの木にできたクマ棚

フン

ツメ跡

成獣オスの足跡

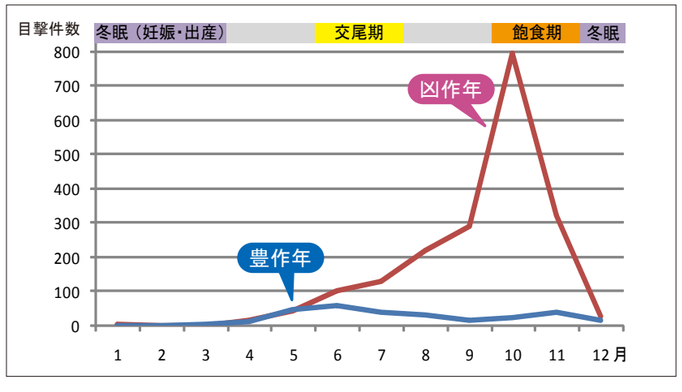
ツキノワグマの生活史と出没の関係



生活史

クマの行動が活発になるのは、初夏の交尾期と秋の飽食期です。交尾期は特にオスが行動圏を広げるため、通常クマが出没しないような地域にまで移動することがあります。

飽食期は、冬眠に備え食欲が増すため、食べ物が大量に得られる場所に長時間滞在し食べ続けます。



山の実りと出没

クマが好むドングリや果実が凶作の年には、人里のカキやゴミなどに誘引され、秋に大量に出没することがあります。

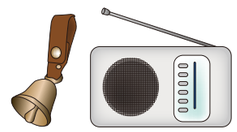
豊作の年には、人里での目撃はほとんどなくなります。ただし、初夏は交尾期のため、行動範囲が広がり目撃が増える傾向にあります。

被害対策

ばったり出会わないために

❶ 山林へ行くときは音の出るものを携行しましょう

山や森林付近の農地に出かけるとき、あるいは夜間に外出するときは、鈴やラジオなど音の出るものを身に付けましょう。とくに雨の日や川沿いは、人間の臭いや物音がクマに伝わりにくいので、大きな音を出しましょう。



❷ 人里でも夕方から朝までの外出は注意しましょう

クマは夕方から早朝の間、人里に出没する可能性が高くなります。この時間帯は、カキやクリの木の近くなど、クマがいそうな所に近づかないでください。

悪いクマにさせないために

集落への出没や、農作物被害を放っておくと、クマの行動がエスカレートして、悪いクマになっていきます。

❶ 誘引物の除去

・ゴミを野外に置かないようにしましょう

ゴミ（とくに生ゴミ入りのもの）はクマを誘引します。屋外に置かないようにしましょう。また、田畑への残飯まき、収穫しない野菜の放置も厳禁です。

・食料は、屋内に収納しましょう

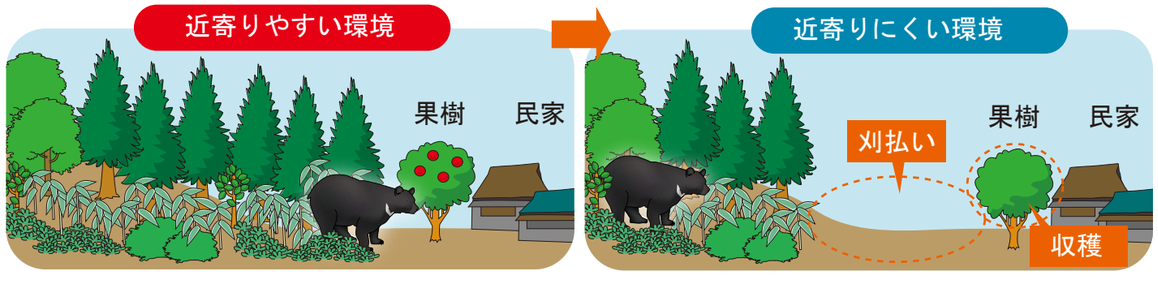
クマは臭いにとても敏感です。屋外や侵入できる納屋などにある食料に気づいて、食べにくる恐れがあります。果物、穀物、ペットフードなどは要注意です。

・果実は早めに収穫しましょう

クマの好物であるカキやクリは早めに収穫しましょう。
食べる予定のないものは処分しましょう。

❷ 環境整備

住居や通路周辺にクマがひそみやすいヤブや草むらがある場合は、刈り取って見通しをよくしましょう。



❸ 防護

トタン巻き

庭先や集落内の果樹に執着する場合、まずは不要木をできるだけ除去しましょう。除去できない木には、幹にトタンを巻きつけ、クマが登れないように防護します。

電気柵

果樹や養蜂巣箱に執着した場合は、電気柵が効果的です。クマの進入ルートがわかっている場合は、周辺のヤブを刈り払った上で、電気柵により遮断します。